

地域との協働による高等学校教育改革 推進事業（地域魅力化型）研究成果

愛媛県立三崎高等学校

1 「みさこう・せんたんプロジェクト」テーマ設定の理由と目標

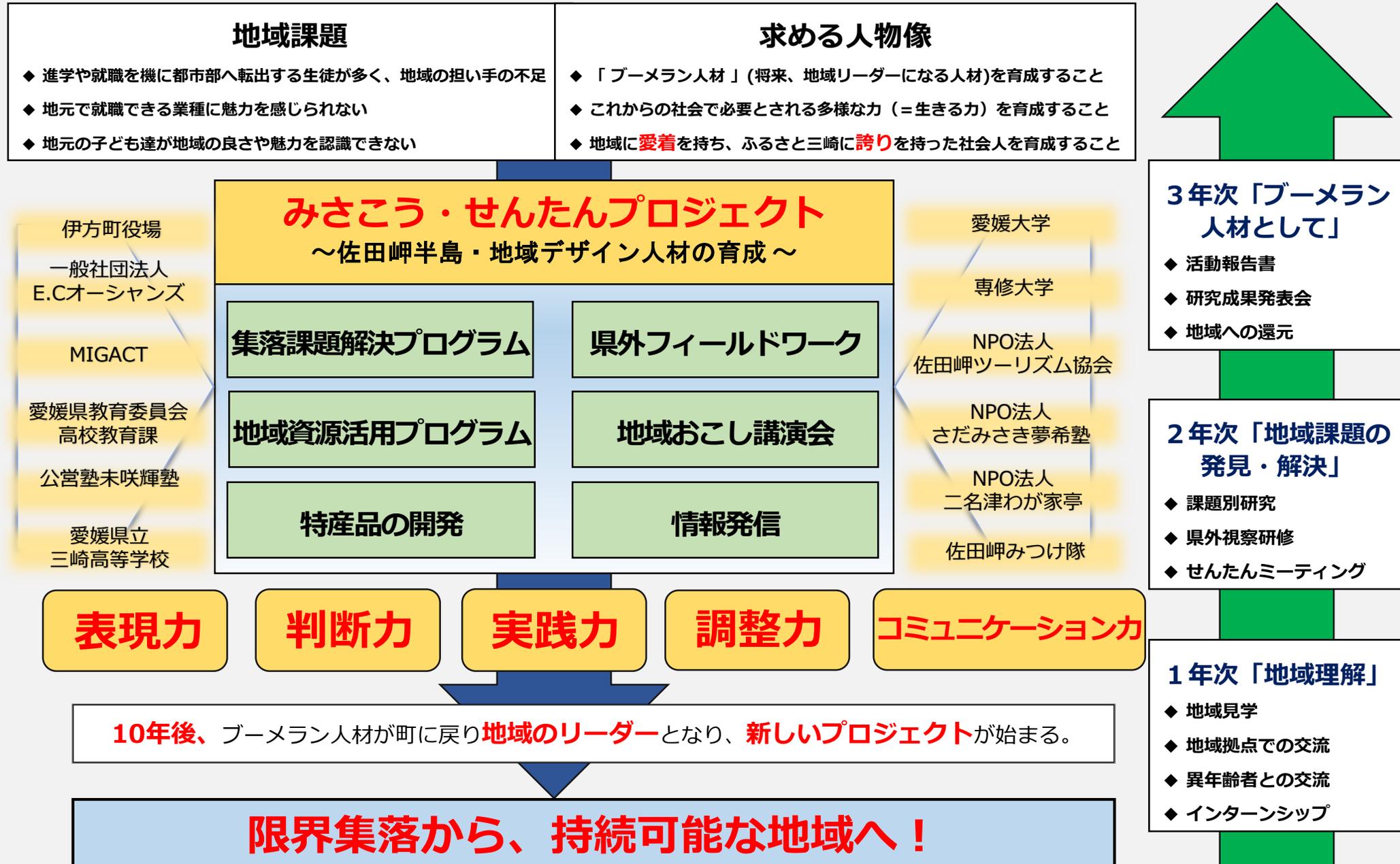
(テーマ設定の理由)

- ・地域の担い手不足
 - ・地域の良さや魅力を認識できていない
- 地域課題の解決×探究活動による高校生の成長**
=地域の活性化と高校魅力化のシナジー

(目標)

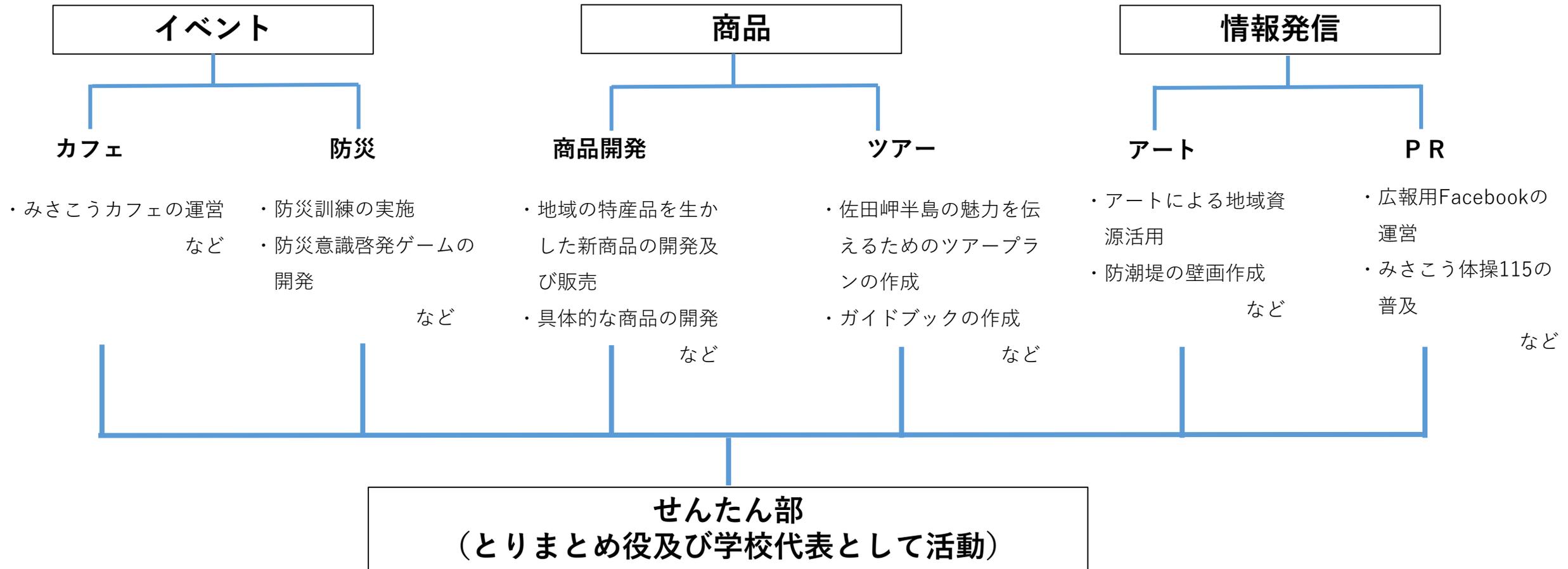
「ブーメラン人材」の育成

- ・生きる力（時代に求められる新しい力）の育成
 - ・地域への愛着と誇りの醸成
- 10年後、20年後に地域で活躍できる人材を育む**
限界集落から持続可能な地域へ



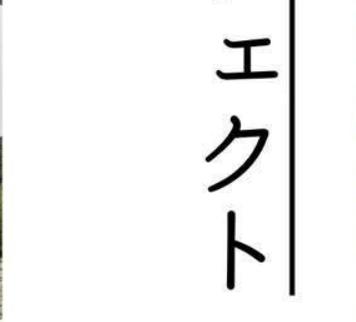
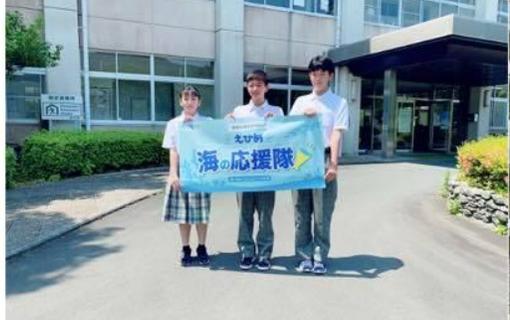
2 主な取組について

「総合的な探究の時間」における探究活動の実施 (3つのテーマを設定し、6つの班に分かれて活動)





三崎高校



せんたんプロジェクト

3 成果と今後の課題

(1) 生徒の進路について

(進学)

- ・令和元年度 国公立大学合格者 **5** 名（せんたん部経験者 3 名）
- ・令和2年度 国公立大学合格者 **3** 名（せんたん部経験者 2 名）
- ・ **地域協働活動に積極的に取り組んだ生徒が総合型選抜（旧AO入試）、学校推薦型選抜（旧推薦入試）を活用して進路実現を達成している**
→ **将来の地元地域へのUターン希望者増加を期待**

(就職)

- ・平成27年度～平成30年度 地元地域就職率の平均 **33%**
- ・令和元年度 地元地域就職者 **6** 名 （6 / 8） **75%**
- ・令和2年度 地元地域就職者 **2** 名 （2 / 5） **40%**
- ・令和3年度 地元地域就職者 **2** 名 （2 / 6） **33%**

3年間の地元地域就職率の平均が49%に上昇

※地元地域・・・ここでは、三崎高校がある愛媛県南部の地域を指す。

(2) カリキュラム開発に係る成果・課題

(成果)

- ・ 学校や生徒の特長に合わせたカリキュラムの編成
→ **個別最適化した探究活動**の実施
- ・ 生徒・教職員の負担の軽減
→ 学校設定科目で実施することにより、
放課後・休日の時間の負担の軽減

(課題)

- ・ カリキュラム編成による負担の増加
→ 学校設定科目や教科横断的な取組など、
新規取組の**開発時の負担**（2年目以降は調整の負担のみ）
- ・ 3年間実施してからの成果確認
→ 内容を変更せざるを得ない部分もあったため、
今後の検証が必要

(3) コンソーシアム等に係る成果・課題

(成果)

- ・ 地域に関わっている団体、人材間の結び付きの強化
→ **探究活動の土壌の醸成**
- ・ 新しい取組や人材の紹介
→ **探究活動の多面化・深化**

(課題)

- ・ 会の日程調整
→ **オンライン等の活用**
- ・ 提案の取捨選択、調整
→ **コンソーシアム人材とともに年間計画を作成**

(4) 本事業を通しての成果・課題

(成果)

- ・ 町内・町外出身の区別なく、それぞれの生徒が**地域課題を自分ごととして、自らの研究に主体的に取り組んだ**
- ・ 積極的に外部人材と連携して活動することで、**コミュニケーション能力や企画力**の伸長等が見られた
- ・ **学校や地域に対する愛着が深まった**

(課題)

- ・ **多様な生徒に対応できる個別最適化された学習活動の**
さらなる推進
- ・ 卒業生も含めた**学校支援体制の構築**

地域で育つ



地域に生きる